

【1】 図書館ビジョンの実現に向けた取り組み ※これまで(第一期指定管理期間中)に実施された新規事業、サービス

1. 町民ニーズに対応した利用者サービスの改善

- ①開館日の拡大、開館時間の延長
⇒整理休館等の短縮(開館日:H22 年度 266 日→H27 年度 289 日)
⇒平日 10 時～19 時、土日祝 10 時～18 時
- ②図書の貸出冊数制限の撤廃
- ③司書スタッフによるレファレンス(相談)対応
- ④IC タグ導入による貸出手続き迅速化
- ⑤公共施設にブックポスト新設
- ⑥高齢者、障がい者向けのサービス
⇒「社協みやしろ」大型版など
⇒家族、介護者の代理貸出サービス

図書館ビジョン(将来像)

『使いやすく、先進性を備え、
町民の誇りとなり得る、宮代町立図書館』

2. インターネット、IT を利用した利用者サービスの展開

- ①インターネットによる貸出予約、貸出延長、問い合わせサービスの開始
- ②専用ホームページを立ち上げ
- ③音楽配信サービス「ナクス・ミュージック・ライブラリー」と契約
⇒月例クラシックコンサートの開催
- ④館内に無線 LAN 環境(フリースポット)の構築
- ⑤HP に「こどもの部屋」「スタッフブログ」開設

3. 魅力ある蔵書構築と情報提供 能力の向上

- ①利用者ニーズを踏まえた計画的な蔵書構築
⇒管理費等の経費節減による資料費の確保(増)
- ②AV 資料のビデオから DVD への切替え
- ③ポプラディア・ネット
(子供向けインターネット百科事典)の契約
- ④国立国会図書館デジタル化資料送付サービス加入(県内初)
- ⑤現行法規データベース契約

4. 子どもの読書活動の推進と 小中学校との連携強化

- ①図書館司書スタッフ派遣による
小・中学校図書室の蔵書管理支援
- ②中学校への読み聞かせ支援: ボランティアとの協働
- ③小学校新 1 年生を対象としたブックスタートの実施
(H27 年度～)
- ④図書館と小・中学校図書室のオンライン化
(H28 年 2 月～予定)
- ⑤「図書館で調べる学習コンクール」の事務局運営

5. 柔軟で弾力性のある運営体制の 構築と施設の整備

- ①専門職員の配置
⇒スタッフ 16 名中、14 名が司書資格保持者
- ②東武動物公園、日工大等と連携した
郷土講演会の開催
- ③『ビブリオバトル』(本の紹介コミュニケーションゲーム)の開催 ※市民大学みやしろとの連携
- ④中高生向け短編小説講座開催
- ⑤BDS ゲート設置 ⇒不明本の激減
- ⑥ボランティア団体との連携による
行事開催(充実)、書架整理等
- ⑦障がい者の職業研修受入れ
- ⑧臨時授乳室の設置
- ⑨パン自販機の設置(収入確保)